文二乙丑ヶ月八白

○そらも豆八月、可必蒔べし

作者　婦子吉

○大ぶ吉ゑ下子也白夫ノ子抱

秋文ハ嫁ノ東ニ有大ぶ之外ニ仕ル

上云

草無高
草ナシ
ナシ

○ぶ　作ける名は大ぶ中分蒔池

○そらも豆八月中分蒔池

○山ん芋文子十月中分蒔

久子ヲトラセ主ヘ

作ル

○同年内畠ヲ初子蒔

入ヶツテイモ自ヲ二ヶめ

文二乙丑ノ年八月大根ノ事

○ある人ハ格ヒヤトヨリ

○ある人ハ蕪菁ヲ

○ある人ハ二月床ヲ掘テ種ル蕪菁ハ

○そもそも夏八月、可必蒔べし

草無尽蔵

年十三歳

作者　嬉子吉子

○大ぶ吉子ハ白菜ノ名也

秋文太郎東京有大ぶ之

上云

○ぶ　作者　花なる

文子十月中ハ蒔べし

○そもそも文子ハ蒔ベキ

○中ハ芋文子ハ蒔ベキ

父子ヨリ上ヲセ主ヘ

作者　六子

○同年内畠ヲ元初ノ事

又サツマイモ自ノ二ヶ月ハ

○二月十五日小豆粥ヲ食ス

又ハ豆粥ト云カナマ地蔵ヲ拵ヘ供ス

汁ヲ九日ヨリ移シ入レ

豆腐ヲ入レ地蔵ヲ拵ヘ

豆腐ヲ入レ

○二月十五日ハ豆腐ヲ煮ル

ト云ヲ三月ニ成カツト云

勢ヲ十五日ハ

田ヲ上ケルト実ノカツト云

○二月十五日

○寛政元年十月廿六日

世ノ大ナル初穂ヲ

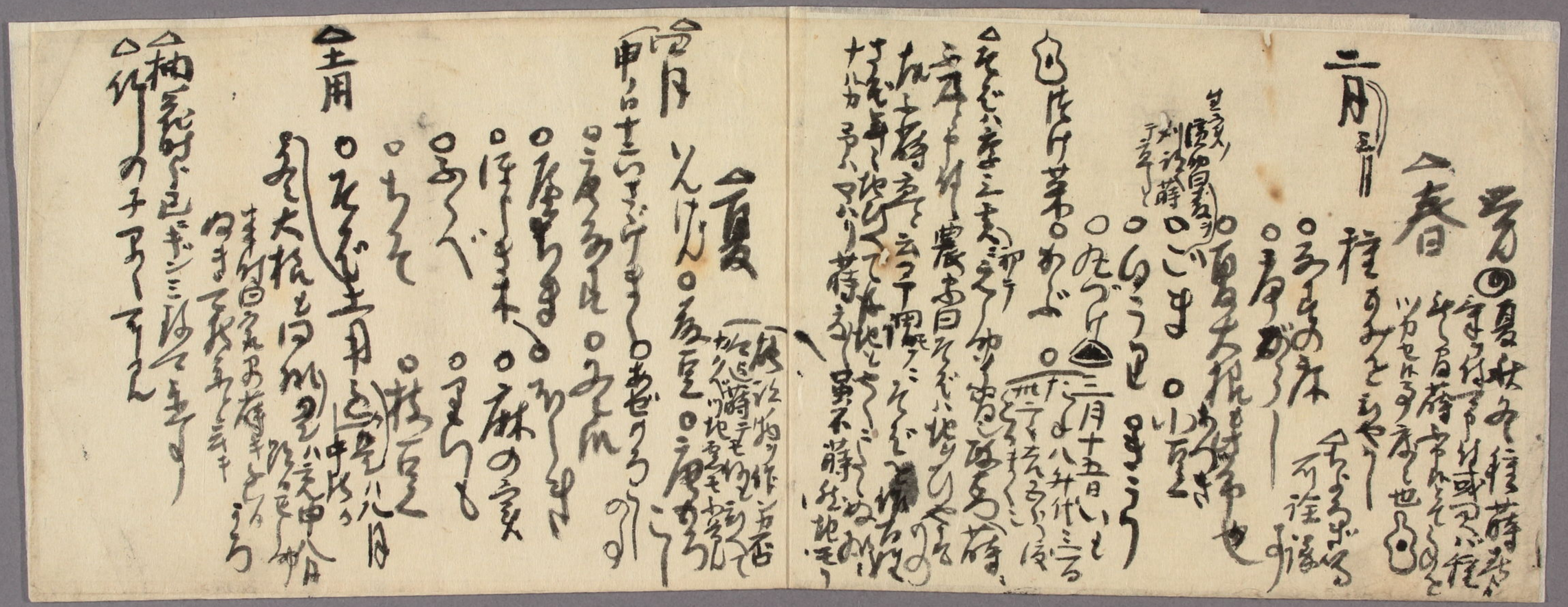
神ニ奉ル

一学園授時

右ハ

○同年内富士ノ初穂

ヲ



二月

春

○ごまうり

○ものうり

○たづけ菜

○あぶ

○ぞうり

○ぞうり

○ぞうり

秋

[illegible]アリ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

△秋 △麦ニ五本アリ

彼岸 ○麦 ○そらまめ

○けし ○ゆきか

八月十日内畠ハケ蒔ニ成ル

八月廿日ニ卯年月ハ小麦清菓

出来ル。ゆづ人氏有ゑ申ん

ケ月ハ麦ハ蒔ん申ん

○此度ハ高木右志ニ成ル

○栗ハ八月十日ニ成ル

○ゆづとんぐげるます

十月 △麦 ○麦なし

種蒔

一夫婦ともに力をあはせ田畑をたがやし又考て可
播中　種八文三秋土の土質
そなへて主人奥さまにあきなん
又桃　枇杷縁側アリ長ク冬
蔭ヲ茂ラス

一久そばらさの不拝口うけたなと
まくべし八月初旬より
まで土初ヲ蒔ク三月迄十リ
里ともいろまく

服部文庫
イ 17
2119
34

11947
2119
34